

(2)心身の機能の発達と心の健康

(イ)生殖に関わる機能の成熟

1 指導内容の系統性

小学校では、体の発育・発達の一般的な現象や個人差、思春期の体つきの変化や初経、精通、異性への関心が芽生えることなどを学習している。また、心も体と同様に発達し、心と体は密接な関係があることなどを学習している。

2 指導内容の明確化

ア) 知識及び技能

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

要1) 思春期には、

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要2) 内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟することを理解できるようにする。

要3) 成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることを理解できるようにする。

解1) 下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを理解できるようにする。

身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し

解2) 性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

《指導案作成》
4 / 4 時間

イ) 思考力、判断力、表現力等

要4) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

解3) 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

3 知識を活用した学習活動（4／4）

第1時では、小学校で得た知識を元に、思春期に起こる体の変化が下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きによって生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まることを理解し、単元の学習活動を始める。また、「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考える。第2、3時では、前時で出た課題や問題点から一人ひとり課題を選び、課題や解決方法についてスライドにまとめる。本時では、スライドにまとめたものを発表し合い、対話を通して意見を出し合い、課題解決に向けて思考を深め、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを理解できるようにするため、次の手立てを講ずることとした。

導入

習得① 小学校で得た知識を元に、思春期には、生殖器が急速に発育し生殖機能が発達することで、男子には射精（精通）、女子には月経（初経）が起き、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まることを理解する。

展開① 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考え、自分の考えを言ったり、書いたりして学級内で共有する。→尊重し合うためには、お互いの事を理解し合う必要がある。そのために、男女の心身の発達や変化、違いがあることに気づき、学習していく必要感を持たせる。

展開②

「異性を尊重し合い生活していくためには」という共通のテーマを通して、主体的に課題設定し、タブレットを用いて探究学習を行い、スライドにまとめる。

習得②

主体的に設定した課題（生殖機能の発達、受精と妊娠、性情報の対処法、心の発達に伴う性衝動等への対処など）について各自で調べ理解を深める。

活用①

主体的に設定した課題について、習得した知識を自分の生活にあてはめ、「異性を尊重し合い生活していくため」に理解してほしいことや課題解決に役立てながら各自でスライドにまとめる。

まとめ

展開③

各自でまとめたスライドを2人1組でペアを替えながら発表し合う。

習得③

自分の調べていない知識を積極的に共有し、知識の整理を行い、深い学びに繋げる。

活用②

自分のまとめたことや他者の発表を聞いて理解したことを言ったり、書いたりしてまとめる。

評価（主体的に取り組む態度）【スライド】

生殖機能の発達や心身の発達について課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

評価（知識・技能）【ワークシート】

思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。

評価（思考・判断・表現）【スライド発表】

心身の機能の発達について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、発達の状況に応じた健康を保持増進する方法を選択し、それらを伝え合っている。

保健体育科（保健分野）学習指導案

第5校時 1年 教室

第1学年

男子19名 女子16名

所沢市立所沢中学校 教諭 (T1)

養護教諭 (T2)

1. 単元名「心身の機能の発達と心の健康」 (イ) 生殖にかかわる機能の成熟

2. 単元について

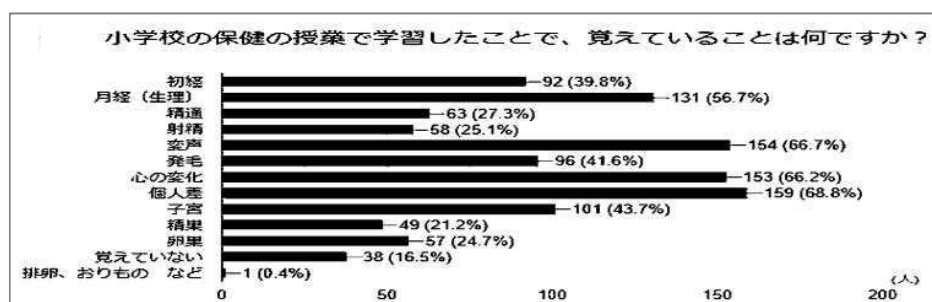
中学生期は、身体的な成熟に伴う生殖機能の発達に応じて性衝動が生じたり、自己の認識や異性への関心などが高まったりする時期である。また、体の変化が著しく個人差も大きいことから、その変化に戸惑い、不安や悩みをもつようになる時期でもある。本単元では、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを科学的に理解し、性的な発達に対応して、異性の尊重、性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動の選択が必要であることを理解し、体や心の変化を肯定的に受け止め、自分や周りの人を大切に思いやる気持ちを育てたい。

3. 生徒の実態

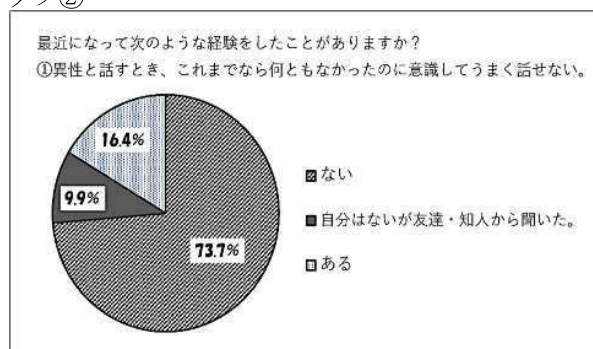
本校生徒は、近隣の2つの小学校を中心に複数の小学校から進学してくる。小学校での性に関する学習は、授業で学習した内容より、宿泊学習前の指導が記憶に残っている生徒が多い。そのため、グラフ①でも分かるように、生理に関しての内容を記憶している生徒が多く、精通や射精はその半分以下であり、生徒に定着している知識の量に差があることが分かる。本校生徒は、明るく、前向きに生活している生徒が多く、学習に対しても関心が高い。また、自分の身近な話題に対して、真摯に受け止め課題を発見し解決したいと積極的に質問したり、自ら調べたり、友達同士話し合う姿が見られる。グラフ②③でわかるように、全体の一部の生徒以外はまだ異性に関心が低く、休み時間も男女仲良く生活している姿も見られる。しかしながら、スクールタクトにも表れているように、異性尊重への課題点として「男女で壁を感じる」、「お互いの体や気持ちを知らない」と感じている生徒が多く、これらの課題点を自分事として捉え、課題解決していけるような学習活動の工夫をしていきたい。

【アンケート結果】

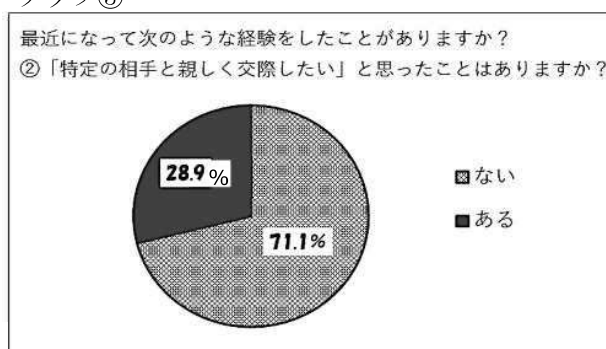
グラフ①



グラフ②



グラフ③



スクールタクトより、生徒の考える異性尊重への課題や問題点（左：男子、右：女子）



4. 教師の指導観

(1) 知識及び技能

下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることや、性衝動、性情報への対処などについて、「異性を尊重し合い生活していくためには」というテーマを通して、性や体について学ぶ意義を考え、主体的に課題設定し、タブレットを用いて探究学習を行い、必要感を持って主体的に学びながらスライドにまとめる。まとめたものを2人1組になってペアを替えながら発表し合い、対話的な活動を通して、課題解決のための知識や思考を深め、性に関する適切な態度や行動の選択が理解できるようにする。また、異性を尊重した望ましい人間関係を構築する資質や能力の育成を目指す。

(2) 思考力、判断力、表現力等

心身の機能の成熟における事柄や情報について、探究学習を通して、課題の発見、解決方法を考え、思考、判断するとともに、自分の考えを伝え合う活動を通して、現在及び将来の生活における健康の課題に直面したときに対処できるような資質や能力を育成することにつなげる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

ICTや学習カード、グッジョブカードなど教具を工夫し、互いに助け合い、教え合うことで、安心して学習できる環境を作り出すとともに、生徒自身が自他の健康に関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じての実践力の基礎を養う。

5. 単元目標

- (1) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、成熟の変化に伴う適切な行動が必要となることについて理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 心身の機能の発達と心の健康にについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
①思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合っている。 ②性機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。	①心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

7. 単元の指導と評価計画（4時間）本時は○印

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	I ねらい ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解できるようにする II 学習活動 1 本時のねらいを確認する。 2 生殖機能の成熟について理解する。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること。 3 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考える。 4 本時のまとめ	①			ワークシート スクールタクト 観察
2	I ねらい ・心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいを確認する。 2 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点から課題を選び、探究学習を行う。 【探究学習のテーマ】 ・男子の体のしくみ ・女子の体のしくみ ・性情報について ・付き合うことについて ・受精と妊娠のしくみについて ・その他 3 課題や問題点、解決方法をスライドにまとめ、伝え合う準備			①	ワークシート スライド 観察

	をする。 4 本時のまとめ				
3	I ねらい ・生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいの確認をする。 2 課題とその解決方法をスライドにまとめ、伝え合う準備をする。 3 スライドを用いて隣同士で発表し合い、グッジョブカードで評価し合う。 4 自他の評価から、筋道を立てて伝え合うことができるように発表内容の加筆修正を行う。 5 本時のまとめ		①		ワークシート グッジョブカード スライド 観察
④	I ねらい ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 ・機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点を振り返る。 2 本時のねらいと学習内容を確認する。 3 2人1組でペアを替えながらスライド発表を行う。 4 習得した知識を確認、整理する。 主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 5 本時のまとめ		②		ワークシート グッジョブカード スクールタクト 観察 ワークシート (授業後)

8. 本時の学習と指導（4／4）

（1）ねらい

- 身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 <知識及び技能>

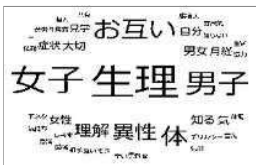
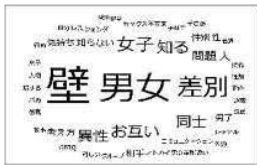
- 機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

（2）資料及び準備するもの

パワーポイント、ワークシート、グッジョブカード、タブレット（発表用スライド、スクールタクト）

（3）展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価（指導○ 評価◆）
		T 1 教諭 T 2 養護教諭
導入 （5分）	1 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点を振り返る。 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について、生徒の考えをスクールタクトのワードクラウドにして提示する。 （男子）  （女子） 	T 2 ○1 時間目に生徒が回答した「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について、スクールタクトのワードクラウドにまとめたものを共有し、男女それぞれの考えを確認する。 ○男女とも、男女で「壁」を感じていること、お互いに知らないことが課題であると感じていること、お互いに理解する必要があると感じていることについて確認する。 ○異性を尊重するためには、相手を知ること、自分を知ってもらうことが大切であることを伝え、スライド発表への意識づけをする。
	2 本時のねらいと学習内容を確認する。 ・思春期における心身の成長についてまとめよう。 ・思春期の変化に応じた適切な行動とは何だろう。	○本時の課題を黒板に掲示する。
	3 2人1組でペアを替えながらスライド発表を行う。	T 1 ○発表方法、ワークシートの記入について説明し、学習の見通しを持たせる。 T 2 ○助言が必要な生徒への支援を行う。

展開 (30分)	・発表の方法とワークシートの記入について確認する。 ①1人目発表(2分) ②質疑応答及び感想を伝え合う(1分) ③2人目発表(2分) ④質疑応答及び感想を伝え合う(1分) ⑤グッジョブカード記入、交換(2分) ⑥ワークシート記入 ⑦移動 ・ペアを決める際にわかりやすくなるよう、テーマ毎にスライドの表紙を色分けする。 ・ワークシートの全ての項目を埋められるように自身でテーマを選んで聞きに行く。	T 1 T 2 ○女子が席を移動し、話を聞きたいテーマの席に座る。 ○1度目のペアで発表し終わったら、男子が席を移動する。 ○生徒の能動性が発揮されるよう、また生徒の思考の流れが中断しないよう、タイマー等で時間を区切らずに生徒の様子を見ながら声かけを行う。 ◆性機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。【思考・判断・表現】(スライド、観察) 「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て ・発表原稿を確認するよう促し、スライドの内容に合わせてできる部分について発表させるようにする。 ・相手の発表の際に質問や意見を考えながら聞くためにメモを取るよう助言する。
まとめ (15分)	4 習得した知識を確認、整理する。 ・自席に戻る。 ・生徒の発表や養護教諭の説明を聞き、ワークシートを整理する。 主たる学習内容(知識) ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。	T 2 ○生徒の得た知識の確認をする。 ○パワーポイントを活用して、知識の整理と確認を行う。 ○思春期におけるこれらの変化は、新しい生命を作り出す大人の体に成長している喜ばしい変化であること、また、性意識の違いを理解し、気持ちをコントロールしなければならないことを伝える。 T 1 ○パワーポイントによる説明のペースに遅れている生徒がいないか確認する。

・「異性を尊重し合い生活していくため」にわかったことや自分ができることを考え、スクールタクトにまとめ、クラスで共有する。  ・学習したことを振り返り、ワークシートに記入する。 ・生徒同士で感想を言い合い、深い学びに繋げる。	◆身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。【知識・技能】(スライド、ワークシート) ※授業後 T2 ○「異性を尊重し合い生活していくため」に今日までの学びを振り返り、思いやりを持って生活していけるよう伝える。
---	--

9 板書計画

めあて

思春期における心身の成長についてまとめよう。

思春期の変化に応じた適切な行動とは何だろう。

まとめ

知識の整理





性意識の変化 資料集P.2

男性・女性ホルモンの分泌 一瞬が刺激を受ける

→ **性意識** に変化が現れる

異性への関心、性的なものへの関心が高まる

→ **性的欲求、性衝動**

→ 性意識の **違い** を理解する。

→ **コントロール** しなければならない。

男女差、個人差がある

性情報への対応と行動 資料集P.3

身の回りに、性情報がある。性情報を得たとき、信頼できる情報なのかを判断し、責任ある行動を選択するために、大切なことはどんなことか。

●不適切な内容があることを知る。

●正しい知識を身に付ける。

●責任ある行動選択ができるようにする。

●危険性を考えてSNSなどを利用する。

10 生徒感想

- ・男女それぞれ心身ともに変化の現れる時期だからこそ、無意識のうちに作っている「壁」がなくなるように、異性のことについて調べたところ、生理、受精、付き合うこと、女子の意見を聞くことで理解を深められ、発表では調べたことを伝わりやすいようにまとめることができました。
- ・男女の壁や差別をなくすために、男の体・女の体のしくみ、性情報などについて学んだ。男や女にしかない体の部分や、思考の違いを知れたので、それを活かして今後生活していきたい。また、正しい知識を学んでいき、これからもっと異性との生活を楽しく過ごしていきたい。
- ・この授業では、今まで知らなかった生理のことや妊娠のことについて先生の話や友達の発表、自分で調べたことで色々を知ることができた。今回、性について学んで、異性を尊重することがとても大切だと思った。異性を尊重するためには、相手の性のこと、自分の性のことを正しく理解することが大切だと思った。そうすることで、相手を気遣うことができたりする。この授業で学んだ事をこれからの生活に活かしていきたい。

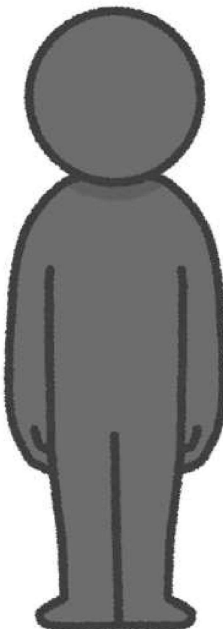
3. 生殖機能の成熟		4. 性とどう向き合うか		【命の授業 1 年生】
1 年	組	番	名前	

教科書 P.48～53

1. 自分で調べたことや友達の発表を聞いて学習したことをまとめよう。

【男子の体の仕組みについて】

【受精と妊娠の仕組みについて】



【女子の体の仕組みについて】

【性情報・つきあうことについて】

【その他】

2. 友達の発表を聞き、学んだことや新たな発見をグッジョブカードで伝え合おう！

もらったグッジョブカードを貼る場所

3. 授業で学んだことや、今後の生活に活かしていこうと思ったことを書こう。
